

令和8年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次申請事業一覧

	地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
1	西江原地区 まちづくり 協議会 計105万円 (うち人口増 20万円)	高齢者 元気アップ事業 (継続)	高齢者グループが互いの学習活動に取り組む「甲山はつらつ学園」では、学園生(高齢者)対象だけでなく、児童のふるさと学習支援や昔遊びなど郷土の歴史文化の伝承のほか、まちづくり行事でのダンス活動、先進地視察交流等、学園生が主体的に企画し実施することで、次代を担う町民へ伝承するとともに、自らの生きがい創造と西江原地区の活性化、健康寿命の長い元気なまちづくりを目指す。		340,000	300,000
2		雄神川流域の 自然と環境を 保護する事業 (継続)	雄神川流域の環境保護と地域の連携と活性化を目指すため、名勝「道祖溪」から雄神川流域の住民と協力して、「ほたるの郷」周辺の川辺の草刈、川土手への花の球根の植栽、蛍の鑑賞会、蛍の幼虫の放流・育成・保護活動、「冬蛍」と称したイルミネーション装飾、地域行事と連携したイベント等を実施する。また、地元小学生を対象に、道祖溪等を探訪する事業を引き続き実施する。		300,000	300,000
3		ふるさとのレレを 探し活かす事業 (継続)	家庭で作られていた保存食等の食文化について、現役世代や子どもたちに伝承するため、「ひな祭りを楽しむ会」や「味噌づくり教室」を実施する。また、「ふれあい市」を開催し、自作産物を販売することで、町民生産者の意欲的な生産への取組みと関係者組織の自主運営への発展、ならびに「西江原のレレ」となる作物の発掘を目指す。その他、伝統芸能「道祖踊り」と「西江原与一太鼓」の活動促進を図り、伝統行事の維持発展に繋げるほか、「甲山」や史跡を巡る複数の散策コースを設定し、町民の健康づくりへの活用を促す。		270,000	250,000
4		西江原子どもの森 プレーパーク事業 (継続、人口増)	西江原町戸倉に「西江原子どもの森プレーパーク」を整備し、幼稚園や小学生児童も参加して、時季に合わせた協働活動(果実採集、水遊び、焼芋づくりなど)と、大人の指示でなく自ら興味をもって遊ぶ自由遊び活動(木や竹の伐採・加工、木登り、山登りなど)を実施し、子どもたちの生活リズムの改善と感性豊かな心身の成長を促進する。毎月第2日曜日が活動する。	○ (2)子育て支 援を図る事 業	220,000	200,000
5	芳井町 まちづくり 協議会 計150万円 (うち人口増 90万円)	地域の学び事業 (継続)	①まちづくり活動への理解や関心が高まることを目的に、年1回広報紙を発行し、全戸配布する。 ②芳井の文化を学び、魅力を発信・継承できる人材を育てることを目的に、「芳井風を編む会歴史講座」を開催し、生涯学習の一助とするとともに、文化資源の継承を図る。		300,000	300,000
6		子育て・福祉支援事業 (継続、人口増)	①子ども体験学習事業 子どもたちが市内の施設を訪れ、郷土の伝統行事や体験学習、地域の特産品などを身近に学ぶ機会を提供する。 ②小学生学習支援事業 夏季休暇中、小学生の絵画や習字等の学習支援を実施する。 ③青色防犯パトロール支援事業 児童・生徒の安全見守り活動を行い、登下校時の安心・安全を確保する。 ④後月くらぶ事業 高校生以下の子どもたちを対象に、芳井の自然・文化・地場企業などの魅力を学び、発信・継承できる人材を育成する。	○ (2)子育て支 援を図る事 業	370,000	370,000
7		防災対策事業 (継続)	まちづくり協議会の委員や芳井町民を対象に、防災対策研修会を開催し、避難に役立つ情報の入手方法や日頃からの備え、災害時の適切な判断や行動について学ぶ。		100,000	100,000

令和8年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次申請事業一覧

地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額(円)	採択額(円)
8 芳井町 まちづくり 協議会 計150万円 (うち人口増 90万円)	ご当地愛醸成事業 (継続、人口増)	<p>①芳井の夏祭り創造事業 灯りの祭りの「芳井宵まつり」を行う。展示作品の製作・展示やまちづくりステージの設置を行い、多くの芳井町民が参加できる夏祭りを目指した企画運営を行う。</p> <p>②地域特産品ブランド化事業 「明治ごんぼう」をはじめとした赤土野菜の6次産業化を推進し、「郷土の宝」としての意識を共有し、さらなるブランド化を進めるため、展示販売や情報発信していく。また、ごんぼうイベントを通じて市外の参加者と交流を図る。</p> <p>③寿の森公園環境整備事業 継続して公園の整備・清掃を行い、マイパーク意識の高揚を図る。</p> <p>④天神峡の自然学習イベント「川の学校」事業 天神峡で「川の学校」を開催し、水中生物の観察、川の遊び方、川の漁具の学習、鮎などのつかみ取りを通して、小田川の豊かさを学び、仲間との協調性・連帯意識の向上を図る。</p> <p>⑤豊かな里山づくり事業 ヤギを耕作放棄地に放して除草と有害獣防御を行う。また、ヤギとのふれあいにより地区住民の癒し効果を高めるとともに、その様子を情報発信し、地域外からの観光目的の交流人口増を目指す。</p>	<p>○ (4) (2)子育て支援を図る事業 (2)(5) (3)市外在住者との交流を図る事業</p>	<p>510,000 (うち人口増 ②200,000 ± ④60,000 ± ⑤50,000 =</p> <p>310,000)</p>	<p>510,000 (うち人口増 ②200,000 ± ④60,000 ± ⑤50,000 =</p> <p>310,000)</p>
	9 移住・定住対策事業 (継続、人口増)	空き家所有者へのアプローチ方法、活用までのマニュアル化、利活用の募集などの課題解決に向け、不動産業者等の専門事業者と連携する方法について、調査、研究を行う。	○ (1)空き家対策及び移住者支援事業	50,000	50,000
	10 賑わい創出事業 (継続、人口増)	<p>①賑わい創出拠点整備事業。施設整備を目指すための準備段階として、施設・組織・取組等を研究する。地域内の商工業事業者等と意見交換会や研修会を実施して、それぞれ知恵を出して連携する。</p> <p>②まちづくり推進啓発事業 町民のまちづくり事業への参加を促すため、小中学生から「わが町を作っていくための合言葉」として標語を募集する。最優秀賞の懸垂幕を作成し、メディアタワーに掲示する。</p>	○ (3)市外在住者との交流を図る事業	170,000	170,000
11 荏原地区 まちづくり 協議会 計140万円 (うち人口増 40万円)	子育て拠点事業 (継続、人口増)	<p>①「土曜キッズ 広場アソボー」 幼保育園児・小学生を対象に「遊びの先輩ボランティア」が、自然を活かし自分で遊び道具を作り、頭体心を動かして遊ぶことを手ほどきし、物作りの楽しさを伝え、地域の人や子ども同士で温かな人間関係を広げる。</p> <p>②「荏原っ子安全見守り隊 青色防犯パトロール隊」 児童・生徒の登下校時に、隊員(青パト)が4地域のパトロールを実施し、安全見守りと地域防犯活動を行う。</p> <p>③「自学SPACE荏原」 定期考査前の中学生を対象に、ボランティアが荏原公民館で学習支援を行う。地域の人との関係が育つことで、地域行事へのボランティア参加に繋げる。</p> <p>④「オール早雲の里ウォーキングデー」 地域内を巡るウォーキング大会を開催し、住民が地域の良さを知る機会をつくる。地域に対する関心を持ち、荏原に愛着を持てる住民を育む。</p> <p>⑤「郷土の先輩偉人早雲公」 当事業で作成した双六等を活用して、児童が郷土の偉人である北条早雲公を先輩偉人として知らせる取組を行う。早雲公について理解し、誇りに思うことで、荏原への郷土愛を育むとともに、地域住民への波及効果を狙う。</p>	○ (2)子育て支援を図る事業	400,000	400,000

令和8年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次申請事業一覧

	地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額(円)	採択額(円)
12	荏原地区 まちづくり 協議会 計140万円 (うち人口増 40万円)	高齢者支援部会事業 (継続)	「ふれあい広場」事業 高齢者等を対象に「集いの場づくり」「居場所づくり」として、公民館において食事の提供、専門家の出前講座、園児・児童との交流、娯楽活動等を実施し、生活支援と外出機会の場を提供する。		692,000	450,000
13		歴史継承振興事業 (継続)	北条早雲のPR事業と高越城址の整備・清掃を行う。歴史講演会の開催や案内板の設置、高越城址やウォーキングコース周辺の草刈りや清掃を実施し、地域住民の理解を得ながら、「北条五代大河ドラマ化」に対する意識の向上と機運の盛り上げりに繋げる。		350,000	350,000
14		早雲の里えぼら 広報事業 (継続)	荏原地区の各団体の行事予定を広報誌(年3回発行)のほか、HP・Instagramにより広く地域内外に発信し、他地区からの参加、来訪者を増やし、荏原地区の更なる活性化・定住化を図る。		150,000	150,000
15		早雲えぼら イベント事業 (継続)	地区民全員が参加できる下記イベントを消防団やPTA、地元企業の若者が中心となって実施することにより、地区の一体感の盛り上げ活性化と世代交代のきっかけに繋げる。 ①早雲ビアカンテン(7月下旬) ②夏のイベント(8月上旬) 盆踊り花火などを検討。		50,000	50,000
16	大江 まちづくり 協議会 計139万円 (うち人口増 46万円)	大江三世代・平成森の会事業 (継続)	地区住民が世代を超えて「平成の森」に集い、グランド・ゴルフ大会や花見会等のイベントを通じて、笑顔で楽しく暮らせる健康的なまちづくりを行う。 ①グランド・ゴルフ大会、花見会の開催 ②平成の森の環境整備		230,000	150,000
17		大江の歴史に 学ぼう事業 (継続)	大江町民が地元大江の歴史を学ぶことにより、郷土愛の醸成や町民相互の親睦を図る。 ①先人の業績や史跡等について、講演会や勉強会を開催 ②史跡の環境整備 ③史跡探訪ウォーキングの実施 ④小学生への啓発活動 ⑤古墳の調査		130,000	120,000
18		賑わい創生事業 (継続)	観音マルエとガリックフェスティバルを開催し、出会い・ひろがり・つながりの輪を育てるとともに、地区内外の人々と交流することにより地域活性化を図る。	○ (3)市外在住者との交流を図る事業	250,000	220,000
19		地域安全事業 (継続)	地域の防災力の向上と安全管理体制の再構築を図るために、近年の異常気象で被災した現地を視察し、被災地でしかわからない状況を学び共有する。また危険個所の再点検を行う。		270,000	200,000
20		ローズバレーI・O 事業 (継続)	大江町民の憩いの場として親しまれる場所とするために、相原公園の環境美化活動を行う。 ①相原池公園の管理 ②バラの植栽、遊歩道の整備		450,000	430,000
21		高齢者支援事業 (継続、人口増)	大江町の人口増加を図るため、空き家対策事業を行う。 ①自治会長の協力を得て、空き家管理台帳を充実させるとともに、市の空き家バンクへの登録を促す。 ②近隣地区との合同勉強会の開催 ③高齢者宅の粗大・資源ごみの搬入応援 ④ワンコインカフェの運営	○ (1)空き家対策及び移住者支援事業	260,000	240,000
22		いきいき菜園事業 (継続)	農業(米作は除く)を今一度見直し、小中学生及び地域住民の意識向上を目指すとともに、農作加工品の新商品開発と新規農作物への取り組む。 ①小中学生の植付・収穫体験会の実施 ②地域住民への共同農作業の呼びかけ ③新たな加工品の開発		35,000	30,000

令和8年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次申請事業一覧

	地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額(円)	採択額(円)
23	井原町まちづくりの会 計100万円	井原町伝承 夢口マン事業 (継続)	町民同士の親睦や交流を図る場づくりと賑わいの創出を図るために、井原町の伝統文化である「鬼まつり」の伝承に関連して鬼面作り講座や鬼の着付け教室、鬼祭りの伝承についての人材養成講座、まちづくりのためのワークショップ等を開催する。		661,000	661,000
24		井原町 元気アップ事業 (継続)	ウォーキングのコース案内図やマップを基に改善を加え、年2回(春・秋)のウォーキング大会を開催する。コースになる小田川堤の環境整備にも取り組む。また、「ジーンズ音頭」「道中おどり」を定着、伝承するため高校生と協同する。練習に取り組み、地域のイベントに参加し、仲間づくりや健康づくりにつなげる。		219,000	219,000
25		「ボードゲームで地域を繋ぐ！」多世代交流事業 (継続)	ボードゲームを使って、多世代交流を図る。月1～2回程度、井原公民館にて実施予定。希望があれば、地区の年配者が集うサロンで講習も行う。大会やリーグ戦を開く等、参加者を楽しめる企画を実施予定。		120,000	120,000
26	木之子地区 振興協議会 計37万円	木之子町内 活性化事業 (継続)	定着してきた朝市を継続して年6回実施し、軽トラでの出店を中心に、町内の個人や団体が気軽に来店してもらい、高齢者の生きがい対策や地域住民間のコミュニケーションを深める場として一層の充実を図る。また新たな特産品を検討する。		315,000	200,000
27		きのこふれあい 安心・安全運動 (継続)	①通行者の安全意識の向上を図るため、県道にのぼり旗を設置する。 ②年2回の全国交通安全運動期間中に警察署の協力を得て、街頭での交通安全運動を実施する。 ③お知らせくんやチラシ等で、交通安全を呼び掛ける。 ④高齢者が悪徳商法などの消費者被害に合わないよう、注意喚起を行うチラシ等を作成して配布する。		170,000	170,000
28	青野地区 まちづくり 協議会 計110万円 (うち人口増 10万円)	環境美化事業 (継続)	増加傾向にある荒廃地を減少させ、住みよいまちにするため、下記環境美化事業を行う。 ①年間を通して、沿道に花を植え付ける。地域の主要施設に花を配布し、施設を彩る。 ②地域で草刈り、支障木伐採が必要な場合には、ボランティア会員が対応し、伐採後の支障木等を有効活用する。		300,000	300,000
29		人財育成事業 (継続・人口増)	子どもたちを地域全体で見守り、愛郷心を育み、子育て世代が、気持ちよく安心して暮らせる地域にするために、リユースの会、科学教室、市内の施設学習等を実施する。	○ (2)子育て支援を図る事業	100,000	100,000
30		魅力発信事業 (継続)	①双スコットキャラクター「あおっぴい」を中心としたイベントでのPR活動、学校・公民館・葡萄浪漫館との連携、お知らせくんやSNSを活用した広報活動、「あおっぴい」を使用したグッズ製作・販売、まちづくり先進地の視察研修を行い、地区内外に青野地区の魅力を浸透させるとともに、地域や会員間の一体感を創出する。 ②特産品としてのこんにゃくや里芋コロッケのほか、新たな特産品を開発するための勉強会を継続して実施し、地産地消を目的とした加工品づくりを行い、地域に根差した6次産業の活発化を目指す。		790,000	700,000

令和8年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次申請事業一覧

地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額(円)	採択額(円)
31	いづえ総合活性化事業(継続)	①公民館周りの美化活動、門松の製作を行い、地域の環境美化を目指す。 ②子どもたちに味噌づくりを体験してもらうほか、味わいクラブで郷土食料理に親しみ、日々の食生活に関心を持ってもらう。 ③出部歴史研究会事業では、地域の歴史を伝承する講座や探訪会を開催し、出部の史跡を再発見する。 ④広報部会事業 「ふるさと出部」の発行(年4回)やInstagram、HP等で情報発信を行い、地域の一体感を醸成する。		520,000	420,000
32	いづえ地区まちおこし協議会 計150万円(うち人口増81万円) いづえ未来活性化事業(継続・人口増)	出部の地域づくりのために人口増(出生・移住・関係・交流)を模索するとともに、将来を担う子どもたちにとって明るく楽しいまちづくりを目指す。 ①ジョーアップ事業 いづえカフェとの連携イベントとして音楽ライブを実施するなどイベントの企画・実施 ②いづえ夏フェスタの開催 花火の打上げ、駅前広場等へ夜店の出店 ③Teamキーヒット 婚活支援につながる出会いの場を提供するイベントの開催	○ (3)市外在住者との交流を図る事業	1,890,000	810,000
33	いづえ安心安全のまちづくり事業(継続)	地域住民が安心安全に暮らせるために、地域住民の防災意識の向上を目指し、啓蒙活動や防災訓練を通じて、お互いの絆を深めつつ災害に強いまちづくりを目指す。 ①住民参加型の防災訓練を実施 ②黄色いハチカチを使用した避難訓練		270,000	270,000
34	広報紙発行事業(継続)	総合的なまちづくり情報を地域住民に提供するため、まち協、公民館、社協、自治連合協議会、防災会の5団体で連携して、広報紙を年3回発行する。また、HPやフェイスブック等を活用し、各世代や地域に情報発信することで、他地区との交流を深め、井原市のまちづくり全体の活性化を目指す。		252,000	225,000
35	ふるさと便利屋さん事業(継続)	高齢者や一人暮らし世帯が日常生活を送る上で困難な作業を地域住民が肩代わりする取り組み。県主社協が実施するボランティアセンター(ワンコイン事業)と協力しあい、2層での取り組みとして事業を進めていく。		404,000	404,000
36	県の里まちづくり推進協議会 計137万8千円 (うち人口増37万8千円) 地域デジタル活用支援事業(継続) <事業名変更>	初心者の方でも分かり易い、実践的な活用講座(教室)を開催し、人にやさしいデジタル社会を目指す。 ①デジタル活用後援会・講座の開催 基本的な解説から、具体的な操作方法を実践をとおして理解する。(防災・防犯、AI活用等) ②スマートフォン相談室(定期開催) スマートフォンを日常使う中で、判らないことを相談する場を設ける。高齢者相互あるいは若い世代が高齢者に教えることや、高齢者が何でも相談したり、教え合うことができる場を目指す。		145,000	145,000
37	地元の一番開発事業(継続)	耕作放棄地対策と特産品づくりのために、次の事業を実施する。 ①サツマイモを生産し、焼酎造りを継続することで、特産品としての位置づけに力を入れるとともにサツマイモ生産を地域農業の産物として広めていく。 ②農福連携し、サツマイモを原料としたペットフードの開発。 ③蕎麦栽培の可能性を探る。 ④地域内の無人販売所の継続運営 ⑤ビニールハウスでの苗物生産の検討		353,000	103,000

令和8年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次申請事業一覧

地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額(円)	採択額(円)
38 県の里 まちづくり 推進協議会 計137万8 千円 (うち人口増 37万8千 円)	「ふるさとかかし」 「かかしコンテスト」等による 地域活性化事業 (継続・人口増)	大人を含め、次代を担う子供達を巻き込み、少しでも農業について考えるとともに、市内外の多くの人々との交流を図る。 ①「ふるさとかかし」づくり講座 ②他地域との「ふるさとかかしづくり交流講座」 ③かかしコンテストの開催 ④市南部の各地域による「かかしロード」構想実現に向け、他地域との調整 ⑤かかし広場の整備 ⑥かかしコンテスト会場ほか、空地への花の苗を植栽	○ (3)市外在住者との交流を図る事業	378,000	378,000
	地域コミュニティ組織 再編検討事業 (新規)	人口減少を見据えた地域づくりとしてより良いコミュニティ組織のあるべき姿を模索していくことを目的として儀業を行う。 ・再編検討会議の開催 ・住民自治組織の在り方を考える講座(講師を招き先進事例を学び、あり方を考える。) ・地域内アンケートによる意識調査。		123,000	123,000
40 野上地区 まちづくり 協議会 計73万 6千円 (うち人口増 25万3千 円)	「生活の足」 対策事業 (継続)	車の運転ができない高齢者を対象にタクシー事業者を利用した買い物支援を行う。また公共交通やタクシー事業者に依存しない、住民による住民のための移送サービスを検討する。		633,000	483,000
41	のがミテイング”事業 (継続・人口増)	ネットワークや連帯感、仲間意識の醸成を図り、楽しみや生きがい等を発見するため事業を開催する。 ①先進地との交流 ②昔から地域に伝わる「タレ」や「味噌」の作り方などを習得する「こだわり塾」の開催 ③HPIによる野上地区の情報発信 ④広報誌「のがみタイムス」の作成	○ (3)市外在住者との交流を図る事業	268,000	253,000
42	みんなでつなごう 笑顔の“わ”事業 (継続)	バンド演奏や踊りで地域の多くの方々や小学校児童との交流を広げ、より活力ある笑顔の絶えないまちづくりを目指す。また、かかしコンテストへの出展やイベントへの参加を通じて、大人から子どもまでコミュニケーションを深める場を創出する。		200,000	200,000
43 いきいき 稲倉 まちづくり 協議会 計77万円	キラキラ笑顔で つどえる事業 (継続)	①毎月1回、地元の新鮮野菜等を販売する朝市を実施し、地域の多くの人との交流の場を作り、賑わいのある元気あるまちづくりを目指す。また、小中学生のお手伝い隊員を募り、一緒に朝市を盛り上げる。 ②花畑や花壇の整備、育苗管理を行い、地域の施設等を花いっぱいにして地域の緑化に取り組む。		550,000	400,000
44	収穫祭で元気なくら 事業(継続)	稲倉産のお米、もち米やささげなどを活用する収穫祭を開催し、餅つき大会やいろいろなイベントを行い、地域の活性化と地域民の繋がりを図る。		90,000	80,000
45	魅力的環境再生事業 (継続)	公共施設、古墳などの文化財周辺や通学路等の道路(別の補助対象箇所を除く)の草刈りを実施し、地域の景観を美化し、地域の魅力の向上を図る。 ・年2回実施 春期、秋期 ・小学校PTA奉仕作業の協力 ・幼稚園草刈り剪定作業		90,000	90,000

合計	11地区	45事業	14,738,000	12,194,000
(うち人口増)	8地区	12事業	4,666,000	3,501,000